

※本研修は令和5年度11月に実施した管理職員向けの人権研修と同じ内容です。

令和6年度

R6年度は、一般職員の方も対象です！

## 「人権感覚を豊かにするための研修」(職業倫理)

社会福祉基礎構造改革から20年。福祉経営はどのような変遷を辿ってきたか。

契約による市場原理の導入の影響を受ける中でも、今後、経営者として求められる大切にしたいミッションとは何か。障害福祉施設「みどり園」(埼玉県さいたま市)の理念や活動原則に込めた思いとは。

そして、**これからの時代を担う法人幹部職員や施設長のあなたに伝えたいメッセージ**とは。

本研修では、高齢・障がい分野における契約制度の話を中心に、社会における市場原理のなかでとらえる福祉の位置づけやサービスのしくみを解説し、経営者の皆様により幅広い視点で利用者支援と人権について見識を深めることを目指します。

今年度は、テーマに関心を持たれた福祉従事者の方であれば、どの方でもお申込みいただけます。

【キーワード】: 契約制度と支援活動、福祉サービス、意思決定支援、市場原理、商品交換社会

福祉経営者はサービスによって競争すべきである。

# 「福祉経営と人権」

～福祉経営者は契約制度にどう対応するか～



「ひかり福祉会みどり園  
ホームページ内」

講師

林 和彦 氏 ひかり福祉会 代表理事・弁護士

【講師プロフィール】

弁護士。日本大学法学部・法科大学院教授などを歴任。「労働法」の研究者。全国社会福祉協議会中央福祉学院で40年以上にわたり、施設の人事労務管理について教壇に立つ。埼玉県内で障がい者の生活・就労支援などを行うNPO法人ひかり福祉会の代表理事も務める。令和5年の1月24日には福祉新聞「一草一味 明日の福祉」に「基礎構造改革から20年」と題したコラム(ひかり福祉会HP掲載)を寄稿した。本研修はその続きの内容です。

### 研修概要

配信期間

令和6年

8月7日(水)11:00 ~ 9月25日(水)16:00

開催方法

動画配信型オンデマンド研修 (約80分)  
(個人単位でお申し込みください)

対象

福祉施設(全分野)の職員でテーマに関心のある方

受講料

お1人につき 2,000円(税込)

申込締切

令和6年7月12日(金)まで  
申込締切後1週間以内に  
受講決定のご案内をいたします。

◎受講が決定しましたら、視聴期間1週間前をめどに視聴用ID・パスワードをメールにてご連絡します。

◎インターネット等の通信料、受講にかかる費用は受講者の負担になります。

◎動画視聴にかかるID・パスワード、研修資料の複製や拡散等の二次使用、研修内容の録画・撮影は禁止しております。

◎本オンデマンド研修は、LMSの機能を有していないため、受講証明はできません。

◎受講後は、アンケートのご協力をお願いいたします。

◎受講料入金後のキャンセルに伴う返金はできません。予めご了解の上、お申し込みください。

【講義内容】

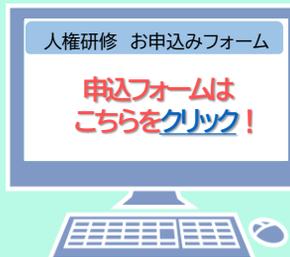
1. 福祉サービス契約のしくみ
2. 意思決定支援と利用者の人権促進・サービスの向上
3. 福祉事業に契約制度を導入することはどういうことか
4. 福祉事業者は市場原理にどう対応するか

【お問い合わせ・お申込み】

(福)大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修グループ (長三・井藤・谷)  
TEL:06-6762-9035 ☎ <http://www.osakafusyakyu.or.jp/kensyu-c/>

大阪府社協 研修

検索



人権研修 お申込みフォーム

申込フォームは  
こちらをクリック!

令和5年度から始まった「人権感覚を豊かにするための研修(職業倫理)」の  
管理者向けに実施した本テーマ！アンケートの声から、  
令和6年度はすべての福祉職員の方を対象を広げました。  
動画配信による研修ですので、ぜひ、この機会にご受講ください。

## 令和5年度受講者の実際の声(一部抜粋)

- ・利用者の人権を維持しつつ、競争するために必要な要素が理解できました。
- ・契約制度の中での福祉活動について人権遵守は不可欠であり、事業者は債務者であるという考えを持ち履行していくという考え方は腑に落ちる。
- ・意思決定支援について、契約から焦点があてられわかりやすい内容となった。
- ・意思決定支援と法律が実は関連しているということがわかりやすかった。
- ・法的根拠から、福祉事業についての立ち位置をわかりやすく説明いただけた。
- ・福祉サービス契約のしくみ、意思決定支援、市場経済と民法の関係、費用と投資の違いなど、福祉施設にとってどれも重要な事柄である。
- ・意思決定支援の考え方がとてもよく分かった。伝達研修として活用したい。
- ・何をすべきか新たな視座をいただいたように感じます。
- ・気軽に受けれるオンライン研修を階層別に企画してもらいたい。
- ・先生のお話は、とても分かりやすく、実践可能に思えてきました。
- ・動画配信型研修であることで、参加しやすい。
- ・これまでの福祉研修を超える内容であり感銘を受けました。
- ・今の私の仕事とは結び付きにくかったが、オンデマンドだったので何度か見直すことができ、少し私たちがやっている事業と結びつけることができたので良かった。
- ・人材育成の大切さをあらためて感じ、その方面に力や時間をもっとかけていく計画を考えていかないといけない危機感を持ちました。
- ・「制度的背景」もしっかりと現場職員への落とし込みが必要だと感じました。

令和6年度の管理職員向けの人権研修(動画配信)第2弾も現在企画中です。

キーワードは、「医療と福祉の融合、総合福祉施設の運営、医療的ケア児・福祉マインドと人権(仮)」

開催時期は1月～2月を予定しておりますので、ぜひ、お申し込みください！